

HOKKAN REPORT Vol.30

第96期上半期 株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



HOKKAN HOLDINGS

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 札幌証券取引所
公告方法	電子公告により行う (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

贈呈基準

所有株式数	ご優待内容
100株以上1,000株未満	3,000円相当の缶詰詰合せ
1,000株以上2,000株未満	6,000円相当の缶詰詰合せ
2,000株以上	8,000円相当の缶詰詰合せ

各種手続きについて

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

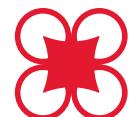
【未払配当金の支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



HOKKAN HOLDINGS

ホッカホールディングス株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL 03-3213-5111 (代表)

URL: <http://www.hokkanholdings.co.jp/>



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙とベジタブルオイルインキを使用しています。

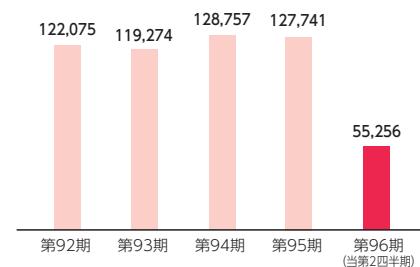


(証券コード:5902)

ホッカホールディングス株式会社

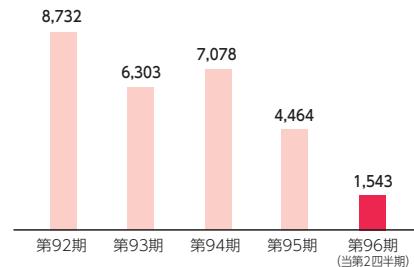
売上高

単位:百万円



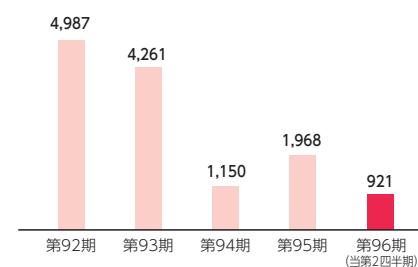
経常利益

単位:百万円



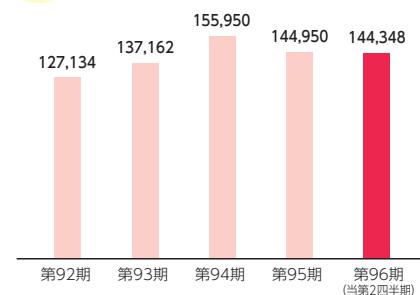
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

単位:百万円



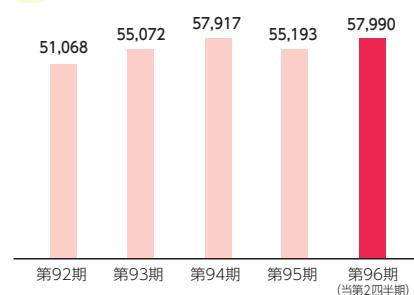
総資産※1

単位:百万円



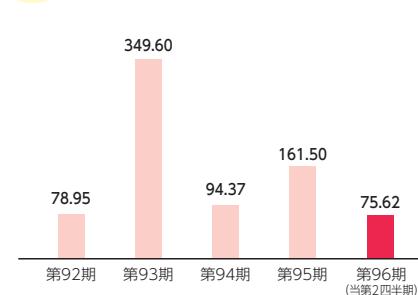
純資産

単位:百万円



1株当たり四半期(当期)純利益※2

単位:円



項目		第92期	第93期	第94期	第95期	第96期(当第2四半期)
売上高	(単位:百万円)	122,075	119,274	128,757	127,741	55,256
経常利益	(単位:百万円)	8,732	6,303	7,078	4,464	1,543
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(単位:百万円)	4,987	4,261	1,150	1,968	921
総資産※1	(単位:百万円)	127,134	137,162	155,950	144,950	144,348
純資産	(単位:百万円)	51,068	55,072	57,917	55,193	57,990
1株当たり四半期(当期)純利益※2	(単位:円)	78.95	349.60	94.37	161.50	75.62

※1 第94期より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用したため、第93期については、遡及適用後の数値を記載しております。

※2 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合をおこなっております。第93期の期首に当該株式併合がおこなわれたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第96期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の営業の概況ならびに計算書類について、ご報告申し上げます。

当上半期の業績および営業概況

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月以降、経済活動が急速に低迷しました。その後、緊急事態宣言解除に伴い、景気は持ち直しつつあるものの、依然として設備投資や雇用情勢は弱含んでいるなど経営環境は厳しい状況にあり、また、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当上半期の清涼飲料業界の状況につきましては、旅行やイベントその他外出制限の影響により自動販売機やコンビニエンスストアでの販売が大きく落ち込み、また夏場前半の豪雨の影響等もありましたため、前年を下回る結果となりました。

カテゴリ一別で見ますと、ミネラルウォーターや無糖茶系飲料において巣ごもり需要はありましたものの、全般的に前年を下回る結果となりました。

食品缶詰業界につきましては、水産缶詰では一部の水産原料不足が解消されつつあるものの、ギフト需要の減少などを受けて、農産缶詰を含めた業界全体として前年を下回る結果となりました。

このような状況におきまして、当上半期における当社グループの経営成績は、巣ごもり需要による家庭内消費の増加はありましたものの、全体としては各業界の動向と同様に販売が大きく減少し、連結総売上高は552億56百万円(前



代表取締役社長

池田 孝 資

年同期比18.7%減)、営業利益は9億31百万円(前年同期比81.2%減)、経常利益は15億43百万円(前年同期比51.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億21百万円(前年同期比50.8%減)となりました。

当上半期における当社グループの事業セグメント別の状況は、次ページ以降に記載のとおりです。



事業別の概況

容器事業

(メタル缶)

①飲料缶・食品缶

飲料用スチール空缶につきましては、業界動向と同様に自動販売機やコンビニエンスストアでの販売が低調でありましたため、前年を下回る結果となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、水産缶詰では、サケやサンマなどの記録的な不漁による原料不足の影響により、前年を下回る結果となりました。農産缶詰につきましても前年を下回る結果となりました。

②その他

エアゾール用空缶につきましては、災害備蓄に対する意識の高まりにより、燃料ボンベ缶の販売が好調でありましたものの、主力の殺虫剤関連製品および消臭芳香剤等の家庭用品の販売は低調でありましたため、エアゾール用空缶全体では前年を若干下回る結果となりました。

また、美術缶につきましては、百貨店等の贈答品需要および観光関連需要が減少したことにより、前年を下回る結果となりました。

(プラスチック容器)

①飲料用ペットボトル

飲料用ペットボトルおよび無菌充填用プリフォーム(ボトル成型前の中間製品)につきましては、業界動向と同様に自動販売機やコンビニエンスストアでの販売が低調でありましたため、前年を下回る結果となりました。

②食品用ペットボトル

食品用ペットボトルにつきましては、リサイクル可能なPET素材の二重構造バリアボトルの販売が好調に推移しましたため、前年を上回る結果となりました。

③その他

一般成形品につきましては、インパウンド需要の減少により化粧品等の日用品の販売が低調に推移したため、前年を下回る結果となりました。バッグインボックスにつきましても前年を下回る結果となりましたため、一般成形品全体では前年を下回る結果となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は167億17百万円(前年同期比18.5%減)となり、営業損失は6億71百万円(前年同期は営業損失45百万円)となりました。

充填事業

(缶製品)

缶製品につきましては、通常缶、リシール缶(ボトル缶)とともに業界動向と同様に販売数量が低調でありましたが、売上高は原材料有償支給の取引が増加しましたため、缶製品全体では前年を若干、上回る結果となりました。

(ペットボトル製品)

ペットボトル製品につきましては、アセプティック(無菌充填)を含む大型ペットボトルでは、巣ごもり需要によりミネラルウォーター等の受注が堅調でありましたものの、アセプティック(無菌充填)を含む小型ペットボトルは、販売が低調に推移しましたため、ペットボトル製品全体では前年を下回る結果となりました。

以上の結果、乳製品受託製造販売を営むくじらい乳業株式会社を加えた充填事業全体の売上高は331億16百万円(前年同期比17.1%減)となり、営業利益は26億33百万円(前年同期比49.8%減)となりました。

機械製作事業

機械製作事業につきましては、自動車部品生産設備や消耗金型、リチウム電池製造設備の受注等が前年を下回りましたため、機械製作事業全体の売上高は8億19百万円(前年同期比43.4%減)となり、営業損失は1億32百万円(前年同期は営業利益2億15百万円)となりました。

海外事業

インドネシアにつきましては、容器(ペットボトル)製造から内容物の充填までを一貫しておこなうPT.HOKKAN INDONESIA(ホッカシ・インドネシア社)、および飲料用パッケージの製造・販売をおこなうPT.HOKKAN DELTAPACK INDUSTRI(ホッカシ・デルタパック・インダストリ社)では、同国での大規模社会制限の延長の影響を受けたことにより、前年を下回る結果となりました。

また、ベトナムにおいて清涼飲料の受託充填事業を営んでおりますNIHON CANPACK(VIETNAM)CO.,LTD.(日本キャンパック・ベトナム社)は、新製品の受注等はありませんものの、新型コロナウイルス感染症や一部のお客様による内製化の影響により、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、海外事業全体の売上高は37億1百万円(前年同期比21.0%減)となり、営業損失は2億30百万円(前年同期は営業利益1億53百万円)となりました。

その他

化粧品等製造販売を営む株式会社コスメサイエンスは、新たなお客様との取引開始はありましたものの、国内およびインパウンド需要の減少により受注が減少したため、前

年を下回る結果となりました。

以上の結果、工場内の運搬作業等をおこなっております株式会社ワーク・サービスを加えたその他全体の売上高は9億1百万円(前年同期比34.2%減)となり、営業損失は22百万円(前年同期は営業利益35百万円)となりました。

下期へ向けて

当上半期においては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が長期化している影響により、国内・海外とも、旅行・イベントや外食等の対面や移動を伴うサービスをはじめとする経済活動や個人消費が停滞しました。第2四半期以降、経済活動は徐々に再開しているものの、感染収束への道筋はまだまだ不透明であり、経済回復の足取りは当面鈍いものと見込まれます。

今年度の当社グループの事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による消費の落ち込み等の影響により、販売が減少し厳しい環境下にあります。このような中、当社グループは引き続き、従業員の安全を最優先としたうえで健全な事業活動の継続に努めるとともに、新規顧客開拓による販路の拡大や一層のコスト削減等、収益の確保に取り組んでおります。また、第2四半期以降は販売が徐々に回復の兆しを見せており、当社グループでは、新しい生活様式に十全に対応しながら、需要の回復に速やかに対応できるよう準備を進めております。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、通期の連結業績は売上高1,108億円、経常利益11億円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を見込んでおります。

以上ご報告のとおりでございますので、中間配当金につきましては、1株につき18円75銭とし、2020年12月10日にお支払いすることといたしました。

ホッカンホールディングスはグループ事業会社全体の力を統合し、さらに高いレベルの「ものづくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「ものづくり力」を高めてまいります。



容器事業

- 北海製罐
(メタル缶製造)
(プラスチック容器製造)
- 昭和製器
(メタル缶製造)
- 日東製器
(メタル缶製造)
- 東都成型
(化成品容器製造)
- ワーク・サービス
(業務請負事業)
- コスメサイエンス
(化粧品製造・販売事業)



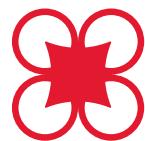
充填事業

- 日本キャンパック
(飲料受託充填)
- 西日本キャンパック
(飲料受託充填)
- くじらい乳業
(乳製品受託製造)



機械製作事業

- オーエスマシナリー
(機械・金型製作)
- KE・OSマシナリー
(機械・金型製作)



HOKKAN HOLDINGS

ホッカンホールディングス (持株会社)



HOKKAN HOLDINGS

ホッカン・インドネシア社 オリジナル ビタミンドリンク10万本製造 現地社員および近隣住民、施設等へ配布

ホッカン・インドネシア社は、当社グループの一員として2011年7月に設立、西ジャワ州ボゴールにて容器(ペットボトル)製造から内容物の充填までを一貫しておこなっており、インドネシア企業や海外ブランドのインドネシア国内向けの製品、また小売店のプライベート商品などを製造しております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地ではビタミン剤や栄養ドリンクなどの需要が高まっていることもあり、この度、現地社員への福利厚生用として、ビタミンドリンクを開発・製造いたしました。このビタミンドリンクは既存のお客様向けの製品ではなく、同社の商品開発部門が新たに開発したレシピによるオリジナル製品です。

同社では本製品を10万本製造し、インドネシア政府の実施する大規模社会的制限下で奮闘する現地社員に対しこれを配布するほか、社会貢献の一環として近隣住民、医療関係施設等へ寄付いたしました。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2020年9月30日現在	前期 2020年3月31日現在	科目	当第2四半期 2020年9月30日現在	前期 2020年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	46,959	48,652	流動負債	36,382	40,986
現金及び預金	4,665	6,489	支払手形及び買掛金	16,531	16,833
受取手形及び売掛金	24,170	24,099	短期借入金	11,599	11,850
電子記録債権	3,495	3,713	リース債務	971	716
たな卸資産	11,499	11,522	未払法人税等	356	1,050
その他	3,149	2,850	賞与引当金	941	950
貸倒引当金	△21	△23	その他	5,982	9,585
固定資産	97,389	96,297	固定負債	49,975	48,769
有形固定資産	70,037	71,352	社債	5,000	5,000
建物及び構築物	24,726	25,331	長期借入金	37,590	36,709
機械装置及び運搬具	22,865	23,956	リース債務	2,314	2,826
土地	16,340	16,340	繰延税金負債	902	185
リース資産	3,660	3,971	役員株式給付引当金	64	38
建設仮勘定	1,738	1,030	退職給付に係る負債	3,725	3,629
その他	705	722	その他	377	380
無形固定資産	5,224	5,005	負債合計	86,357	89,756
のれん	1,882	1,862	純資産の部		
その他	3,342	3,143	株主資本	51,162	50,566
投資その他の資産	22,128	19,939	資本金	11,086	11,086
投資有価証券	19,602	17,410	資本剰余金	11,107	11,107
長期貸付金	432	440	利益剰余金	30,940	30,343
繰延税金資産	49	15	自己株式	△1,972	△1,971
退職給付に係る資産	15	22	その他の包括利益累計額	3,648	1,622
その他	2,063	2,085	その他有価証券評価差額金	6,308	5,013
貸倒引当金	△34	△34	繰延ヘッジ損益	△0	9
資産合計	144,348	144,950	為替換算調整勘定	△1,850	△2,497
			退職給付に係る調整累計額	△808	△902
			非支配株主持分	3,179	3,004
			純資産合計	57,990	55,193
			負債純資産合計	144,348	144,950

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	55,256	67,940
売上原価	46,634	54,956
売上総利益	8,621	12,983
販売費及び一般管理費	7,689	8,029
営業利益	931	4,954
営業外収益	854	545
営業外費用	242	2,340
経常利益	1,543	3,159
特別利益	7	519
特別損失	303	89
税金等調整前四半期純利益	1,247	3,589
法人税・住民税及び事業税	287	1,584
法人税等調整額	67	105
四半期純利益	892	1,899
非支配株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	△29	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	921	1,871

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	52	7,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,729	△4,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222	△2,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,823	345
現金及び現金同等物の期首残高	6,489	1,982
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,665	2,328

利益配分に
関する基本方針

当社は、中長期的な株主価値向上を図る観点から、成長戦略および財務の健全性強化のための内部留保の充実を勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を最大限に考え、バランスを考慮した配当方針としております。

2021年3月期配当
(1株当たり)

中間配当

18.75円

期末配当

未定

株式の状況 (2020年9月30日現在)

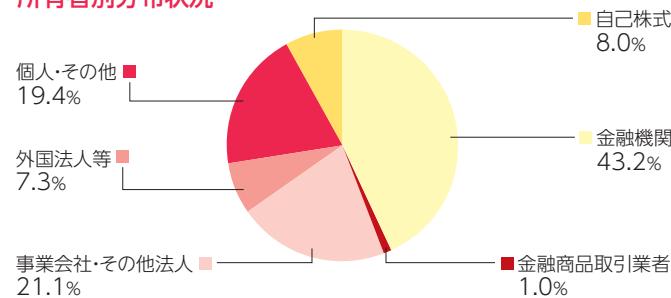
発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	13,469,387株
株主数	6,190名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	736	5.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	663	5.35
日本生命保険相互会社	654	5.28
株式会社みずほ銀行	594	4.80
農林中央金庫	400	3.23
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	364	2.94
東京海上日動火災保険株式会社	361	2.91
株式会社北海道銀行	293	2.37
JFEスチール株式会社	281	2.27
株式会社メタルワン	260	2.10

(注1) 持株数は千株未満を切捨てて表示しております。
 (注2) 当社は自己株式1,073,639株を所有していますが、上記大株主からは除いております。
 (注3) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



会社概要 (2020年9月30日現在)



商号 ホッカンホールディングス株式会社
 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
 本社 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
 丸の内三井ビル TEL03-3213-5111
 設立 1950(昭和25)年2月1日
 (創立 1921(大正10)年10月23日)
 資本金 110億8,652万4,995円
 従業員数 55名
 事業内容 (1)各種空罐、容器の製造販売
 (2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の
 受託充填および販売
 (3)乳製品・菓子類の受託製造販売
 (4)レトルト食品の受託製造販売
 (5)各種化粧品受託製造販売
 (6)各種機械の製造販売
 (7)機械器具設置工事業
 (8)倉庫業
 (9)土木・建築工事の設計、施工請負

役員体制 (2020年9月30日現在)



工藤 常史
取締役会長(代表取締役)



池田 孝資
取締役社長(代表取締役)



藤本 良一
取締役副社長



佐藤 泰祐
取締役常務執行役員



武田 卓也
取締役執行役員



砂 廣 俊 明
取締役執行役員



安藤 信彦
取締役(社外)



宮村 百合子
取締役(社外)



藤田 晶子
取締役(社外)



竹田 由里
常勤監査役



小池 明夫
監査役



田代 宏樹
監査役(社外)



鈴木 徹也
監査役(社外)

